

霊峰木曾おんたけロードタイムトライアル+ヒルクライム

コミュニケ7-1(競技系)

2020.10.29.

チーフコミッセール 倉田 達樹

(ロードタイムトライアル、ヒルクライム 共通事項)

1 コミュニケの位置づけ

コミュニケは、大会要項・特別規則を補完するものである。大会要項・特別規則も熟読のこと。

2 ゼッケン・フレームプレートの取り付け

(通例、タイムトライアルにおいてはゼッケン1枚、フレームプレート不要であるが)本大会では、**ゼッケン2枚(右図)+フレームプレート**の着用を義務づける。ゼッケンの付け方は右図のようにつけること。ゼッケンとゼッケンの間は最低5cm以上空けること。



・フレームプレートは、フレーム前部中央につけることを原則とします。もしフレーム前部に取り付けることが不可能な場合、シートピラーに取り付けることを認めますが、臀部・脚部で隠れないよう十分突き出した位置にしっかり固定してください。

・ヒルクライムでは、通常のフレーム・プレートに加えて、前方から視認できるナンバープレートのハンドルへの取付を義務付ける。

・**ゼッケン、フレームプレート取付用の安全ピン、結束バンドは各自で用意してください。**

3 映像

- ・本大会における肖像権は主催者に帰属する。
- ・オンボードカメラの使用は認める。主催者から画像データ提供依頼があった場合には応ずること。
- ・主催者からオンボードカメラの装着依頼があった場合は応ずること。
- ・木曾おんたけ観光局宛肖像権使用承諾書に同意のこと(用紙はエントリー責任者宛送付します)。

(ロードタイムトライアル)

4 スタート間隔について(TT)

・クラス1, 女子、ジュニアは1分間隔、パラサイクリングは2分間隔、他は30秒間隔とする。

5 レース中の走行について(TT)

・**センターラインを越えることが絶対に無いように充分注意して走行すること。**



木曾おんたけ観光局
KISO ONTAKE TOURISM OFFICE

IRC TIRE
Inoue Rubber Co., Ltd.

nichinao

霊峰木曾おんたけロードタイムトライアル+ヒルクライム

コミュニケ7-2

(ヒルクライム)

1 スタート時刻の変更

- ・厳しい寒さが予想されるため、**スタート時刻を当初要項発表の10時から、11時に変更する。**
- ・主催者提供共通器材車は1台、先頭選手をカバーする。器材モトはない。

2 防寒対策

- ・**フィニッシュ地点は氷点下となる。十分な防寒対策を行うこと。**
自動車はスタッドレスの着用もしくは冬用チェーンの携行を推奨する。

3 降坂

- ・今回、フィニッシュ地点からスタート地点への移動（降坂）は、レース前・レース後ともに自動車での移動を原則とし、自転車での降坂は行わないこと。レース前の降坂は10時出発とし、チームカーで降れる者はチームカーで降ること。主催者はマイクロバス2台（計40名程度収容）を用意する予定。万が一、バスに全員を収容できない場合、自転車で降る選手は主催者先導車両に従い集団で降坂すること。**自転車による単独の降坂は絶対にしないこと。**

4 スタート地点の駐車場

- スタート地点の駐車場はカレー店・公共トイレ利用客向けとなっており、収容台数も限られている。スタート前の短時間の駐車は差し支えないが、**レース終了後まで車両を放置することの無いように。**

5 スタート時の整列

前日のロードタイムトライアルの成績を加味し、前方から下記の順で整列する

- ・女子、ジュニア
 - ・クラス1 前日ロードタイムトライアル上位者、ヒルクライムのみ参加者
 - ・クラス2 前日ロードタイムトライアル上位者、ヒルクライムのみ参加者
 - ・クラス3 前日ロードタイムトライアル上位者、ヒルクライムのみ参加者
- 各クラスには前日レース成績による昇格者を含む
- ・本人以外の場所とり、自転車をおいての場所とりは一切認めない。
判明した場合は最後尾からのスタートとする。
 - ・感染対策として、スタート前の私語は禁止する。スタート直前までマスク着用のこと。

6 打ち切り

- ・特別規則に基づき原則として先頭から1kmあたり3分程度の遅れを目安として打ち切りを行う。
- ・上記にかかわらずコミッサーがレース続行不可と判断した場合、競技の中止を命ぜられる。
- ・失格となった選手は原則として収容車に乗車すること。コースの逆走は認めない。

